

発行に当って 一文芸委員と しての思い



今年「郷の集い」を発行することに
なり誠に喜びにたえない次第に思ひ
ます。これを責め様々に学校、子供、
各部若の積極の調練、番書等、有意義
なものに向けて、町下でも、いや景
下に於ても名所ある小学校、愛護会に
も、行っていただく心から念じています。
当小学校の母連級は町新聞にも掲載
の度々にたえられ、これに負けては努
力しなければならぬ。

また、「一つ申したい」は、PTAと
が愛護会がいろいろのシステムは本
来の目的を脱し、先生と父兄の唯ま
る則近きかもし出すかの如き形が行か
このPTAなどにも多々見つけられる
ようだが、こういうことは一切排除し
直ちに子供の教育、幸福を謀りてや
らなければならぬと思ふ。

特に職業的に職業を専らにする者の
世帯に於ては、母更、子供の教育には
目と通し行やすく、勉強の面倒は
おろか、時に専らに子供のキキやう
かりのこと、なかにしものらずで良
キ理解し、教育的見地からの愛護を配
れること、健康のため、運動
そして、能率的な勉強、また、個性を
見だし、伸ばしてやることも大切であ

これからこの紙上を用いて、たか
り意気の交換、子供の生活状態の登
表、または、児童心理の観察等、学校
父兄、子供と三者一体となり、よりよ
き「郷の集い」その目的たる子供の
教育、健康、幸福に盡力しなきてはな
らぬと願う。 献文と一筆（五正）

本年度才一学期 児童会役員

昭和三十三年度才一学期の児童会各
役員を、おしらせします。

児童会長	二年	三上 謙一
副会長	二年	山田 幾子
書記	二年	東 和美
	二年	東田 ひろ
	四年	北川 志子
	五年	青木 鉄治
	五年	三上 孝子
	六年	高橋 正徳
	六年	電田 竜也
	以上	

部落子供会のかかり

部落子供会のかかりを、おしらせ致
します。各部落の方々は、よろし
く指導下さい。

河内 部落長	電田 竜也
副	三上 孝子
宮前 部落長	杉本 征繁
副	西正 和子
北本堂部落長	篠崎 守
副	篠崎 嶺子
自屋 部落長	小林 吉昭
副	森崎 十子

昭和三十三年度 母親学級年間目標

時期	目標
四月下旬	本年度の学校、学級の経 営方針並に努力事項を 示す。
五月上旬	個性を伸ばすことが子供 達の成長にいかに関与か を、示す。
六月上旬	学校の教育について
七月上旬	夏の衛生と夏休み中の生 活について考える。
八月上旬	主婦として、母親として また社会の一員としての 自覚について。
九月上旬	教材の研究、運動会への 協力。

校内球算検定 行なわれる

毎年五月三十日と四月限に、四年以上
の全児童六十名が教室に集まり、八
級の球算能力テストを実施しました。
その結果は、つぎのとおりです。

四年	35名	八級	57%	九級	85%
五年	30名	八級	57%	九級	33%
六年	21名	八級	57%	九級	75%

はじめての試みとしては、比較的良い
成績でした。こんどは、商工会議所主
催の検定大会をめぐって、がんばって
ます。



梅雨の児童の健康に ついて

今年もまた梅雨の候が、おとすれて
きました。いつぞこの頃は、と欠常
児童の増殖が自立して来るのが例年の
傾向であります。また学校に於ける見
察の活動状態をみても、平常とは違
うしても受てくるように思われます。
びんとした寒さ、元気がなく、及
つて作業もさたりがちになるように思
われます。また時としては、真下のど
か、活発な児童を毎年のようにみ
られ、学校の臨時休校が新聞をにぎ
わして、いろいろなことがあります。
ですから、梅雨の期間の児童の健康
については、学校と父兄の皆さんと協
力して、身なり指直して、いきたいと思
います。二三の注意事項を、あげてみました。
特に多いのは、食中毒ですが、平常より
ば、なんでもよいような、かけがらで
も、体の抵抗力が弱くなっていますか
ら、病気になるやすく、こんなとき
に、たばこや、わらな、てるものを
ついでにして、発病したなどが原因の
おもしろいものです。

伝染病は、ふられた手で、も
のま口に入れたり、食事の時手洗
がなかつたから伝染したなどという例が
あります。特に衛生的な教育、様
々、大切であると思ひます。

また、梅雨の時季は、暑く、ありま
す。児童は、ついでに入らう、と
もあり、伝染病にかかり、また、

学 年	人 数	匹 数
1 年	8	14
2 年	8	22
3 年	5	7
4 年	4	8
5 年	4	10
6 年	0	0

いろいろな病気に、なりやすいこの時季
ですが、児童の健康について、特に、注
意して下さい。よう、お願いいたし
ます。

(かかり)